

決算特別委員会 審査概要

平成27年度の一般会計及び特別会計(5会計)の決算が8月29日に市長から提案され、議会は議長及び議会選出監査委員を除く20人の委員で構成する決算特別委員会(委員長・谷田部一之)に付託しました。委員会は、9月20・21・23日の3日間審査を行い、「平成27年度狛江市一般会計決算の認定について」など6会計についていずれも認定しました。一般会計決算の主な質疑は以下のとおりです。

【総括質疑】

- ・人口増は、平成27年度決算にどのように影響したか。
- ・狛江市第5次行財政改革推進計画で財政基盤の強化を図ってきたが、市の財政状況について、どのように捉えているか。
- ・市では滞納者の訪問についてのどのような体制で行っているのか。
- ・経常収支比率改善の要因と今後の見通しについて伺う。
- ・社会保障費が増加する状況下で、市は社会保障費の増加額についてどのように考えているのか。
- ・監査委員からの講評についてはどのように受けとめているのか。
- ・狛江市人財育成基本方針が平成26年3月に策定された。この方針に基づいて行われた平成27年度の取り組みは。
- ・狛江市の外部評価制度の特徴は。
- ・市制45周年記念事業の全体としての評価は。
- ・児童相談所の閉所後や土日、祝日など、緊急を要する場合

- の対応について。
- ・今まで市で行ってきた地球温暖化防止策の取り組み及び成果について。
- ・人口増と世帯数の変化で、新規移住者を意識した政策を考えてきたのか。
- ・中期財政計画の3つの財政規律と照らし合わせた、平成27年度の結果について説明を。
- ・市では今までに事務決裁の簡素化や業務プロセス改善を行ってきたのか。
- ・市は何年か前に財務省の監察対象になっていたと思うが、現在どのような状況になっているのか。
- ・国は平成27年度の地方公共団体の決算から、決算情報等に見える化を進めるとしている。市として何かかわって進めていくのか。
- ・将来負担比率について、過去5年間の推移と多摩26市の順位は。
- ・市民参加の手法としての市民説明会とパブリックコメントの平成26年度と平成27年度の実績について伺う。
- ・広告費減少の原因及び担当部としての総括と今後は。

平成27年度 会計別決算状況

(単位：千円)

区分	歳入総額	歳出総額	歳入歳出差
一般会計	29,302,483	28,276,528	1,025,955
国民健康保険特別会計	9,724,681	9,682,499	42,182
後期高齢者医療特別会計	1,776,973	1,765,938	11,035
介護保険特別会計	5,480,838	5,460,311	20,527
公共下水道特別会計	1,845,982	1,538,858	307,124
駐車場事業特別会計	49,391	49,391	0
合計	48,180,348	46,773,525	1,406,823

- ・平成27年度日本一安心安全なまちづくりを目指す各部の取り組みに、スローガンなど具体的に日本一を目指す取り組みがあったのか。
- ・人材の確保と育成について、試験の実施時期、採用人数は。
- ・調布都市計画道路3・4・16号線七差路の信号機設置について対策と今後の見通し。

【歳入】

- ・市では市民に對しどのよう納税等の周知をしているのか。
- ・庁舎使用料として食堂の使用料があるが、市民食堂としてどのような貢献をしているのか。

- ・不動産貸付収入の中には平成27年度に有料化された市役所駐車場の貸し付けがあるが、貸し付け実績について。
- ・年々ふえている滞納案件の処理に迅速に対応していくために、職員一人一人の能力を底上げするための職員の専門性確保の手法と、組織運営の改善について。

【歳出】

- ・終戦70周年平和祈念事業について、「明日への路」という楽曲が作成されたが、作成経緯

や費用について伺う。

- ・職員健康管理のストレスチェック委託について、対象者及び受検者数を伺う。
- ・小田急線狛江駅と和泉多摩川駅に市のデジタルサイネージが設置されたが、いつどのような負担で設置をしたのか。
- ・コミュニティ活動活性化助成金について、過去5年間の助成額の推移を伺う。

- ・こまえ初春まつりでは無料の豚汁配布があったが、調理の事前準備と配布の人員について。
- ・税総合システムの方向性などの予定は。
- ・戸籍住民基本台帳費の個人番号カード交付事業について、負担金の内容と不用額が出た理由は。
- ・統計調査事業費の国勢調査について、インターネットでの調査が本格導入されたが市ではどのような状況であったか。
- ・コンビニエンスストア収納業務委託について、利用状況と徴収率への影響は。

【民生費】

- ・認知症高齢者と家族のためのお役立ち支援マップの作成回数、単価、配布先について。
- ・聴覚障がい者用災害ベストは何着作成して、どのように活用されているのか。
- ・5カ所の介護者の会が立ち上がっているが、どのような取り組みが行われているのか。
- ・発達障がいコミュニケーションセミナーについて、どのような講師陣で講師の選択基準は。

- ・こまYEILについて、相談者に対してどのような支援を行い、どのように自立に結び

つけているのか。

- ・避難行動要支援者には何人が該当し、避難行動要支援者名簿に記載されているのは何人か。
- ・社会福祉法人指導検査等事業の検査対象、サイクル、内容等について。
- ・多摩川住宅での第二こまほつとシルバー相談室について、委託先選定のポイントは。
- ・旧根川児童保育所の今後の活用について、いつ、どのようなように検討していくのか。
- ・福祉タクシー券について、実態に合わせて対象を広げてほしいが、いかがか。
- ・児童発達支援事業所による平成27年度で変更点があったのか。
- ・生活保護費について、生活保護受給者の過去5年間の推移は。

【衛生費】

- ・市では環境保全にかかわる人材育成について、どのように考えているのか。
- ・受診率向上のための取り組みとして出張がん検診、保育つきがん検診の状況は。
- ・在宅寝たきり高齢者に対して訪問支援はあるのか。
- ・こまエコまつりについて、評価と課題をどのように改善したのか。
- ・市民とともに公共施設などを対象に放射線公開測定を実施しているが、数値が高かった場合の対策は。
- ・日本対がん協会と合同でセルフチェックの体験会は検討可能か。

【農業費】

- ・農業経営改善計画推進事業補助金が減額している理由は。

【商工費】

- ・中小企業者事業資金融資の広告宣伝方法とその費用について。
- ・狛江わくわく商品券事業の内容について。

【土木費】

- ・ガムスポット除去を専門業者に依頼した経緯について。
- ・平成25年度から10年間の道路修繕計画が策定されているが、平成27年度までの進捗状況は。
- ・景観まちづくりビジョンの目的と位置づけについて。
- ・交通安全対策として自転車ネットワーク計画策定を要望したが、検討したのか。

【消防費】

- ・避難所運営協議会のマニュアル作成はどのようになっているのか。
- ・防災意識を上げていく意味で家具転倒防止器具の配布や取りつけ支援を行ってほしいが、いかがか。

【教育費】

- ・中学校でもタブレット端末が導入されて、ICT教育がスタートしたが、成果や生徒への影響、感想等について。
- ・平成27年度通学路合同点検の実施結果等について。
- ・Q-Uアンケート導入後の3年間の総括について。
- ・ハイパーQ-Uアンケートの今後の生かし方について。
- ・スクールソーシャルワーカーの活用実績について。
- ・移動教室関係費について、旅行業者選定及び書類保管について改善したのか。
- ・中学校給食を運営していく上での苦勞、改善点、評価について。